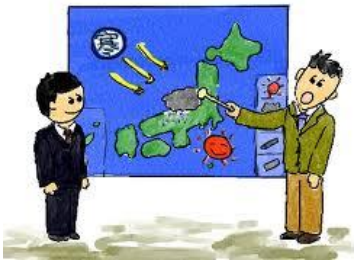


ごとう通信

第 147 号

平成 25 年 3 月 1 日

今年には雪がたくさん降ったという気はしないのですが、とにかく寒いというのが特徴でしょうか。けつこう震えながら訪問した日も多くありました。東北などでは雪もすごいことになっていて、日本で日本全体としては厳しい冬でしたね。ようやく三月。この春は過ごしやすい日が続くとよいですね。



さて、僕たち夫婦は全く性格が違います。天気予報の見方一つとっても大きく異なります。僕は天気予報をほとんど見ません。今から出かけるという時、

雨具がいるかどうか必要な時だけネットで調べる程度です。明日は明日の風が吹くし、確実に当たるもんでもない天気予報を数日前から調べるなんて時間の

無駄にしか思えません。例えば週間予報で次の日曜日は晴天と言っているも金曜日に雨の予報に変われば、月曜から木曜日までの天気予報を見ていた時間は無駄にしかありません。それなら土曜日の夜に確実性の高い予報を一回見れば良い話だし。

一方、妻の登世子は、数日先の予報をはじめ、何とテレビで天気予報のはしごをすることも！正直信じられない。お前は気象予報士か！ということ突っ込みたくなります。

皆さんはどちら派ですか？天気によつて仕事が左右される方は別にして、男性は僕派が多いんじゃないか

なあ……。ちよつと興味あります。

ランニングドクター

昨年も三月号で東京マラソンの医療支援走ボランティアのご報告しました。そして先月末の東京マラソンでもやってきました！……ということランナーとしては抽選もれしてしまつたということなんですけれど。

僕たちの役割は走りながら生命の危機に陥るような身体状況になったランナーをいち早く見つけ、早期に救命活動するとともに医療サポートチームを呼ぶことです。

例えば、東京マラソンでは十か所近い救護所がありますが、4〜5キロ間隔。その途中で心臓が止まるような状態の方が出た時、自転車に乗